



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 関東電化工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4047 URL <https://www.kantodenka.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 淳一
 問合せ先責任者(役職名) 広報・IR室長 (氏名) 代蔵 政伸 TEL 03-4236-8804
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	46,709	0.2	2,608	0.1	3,509	13.9	1,724	△7.8
2025年3月期第3四半期	46,621	△5.0	2,606	—	3,081	—	1,869	726.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,254百万円(81.3%) 2025年3月期第3四半期 1,795百万円(△15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	30.04	—
2025年3月期第3四半期	32.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	128,276	69,720	53.0	1,185.41
2025年3月期	123,617	67,622	53.4	1,147.96

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 67,988百万円 2025年3月期 65,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
2026年3月期	—	9.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	66,500	6.7	4,500	5.3	5,300	17.6	2,700	△16.9
								47.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期3Q	57,546,050株	2025年3月期	57,546,050株
2026年3月期3Q	192,101株	2025年3月期	88,481株
2026年3月期3Q	57,407,713株	2025年3月期3Q	57,455,163株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復している一方で、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心に見られるなど、依然として厳しい状況にありました。海外においても、通商問題が国際的な争点となり、追加関税や対抗措置が様々な経路で世界経済に影響を与える可能性があり、先行き不透明な状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、2025年8月に発生した渋川工場火災事故による影響があったものの、主に精密化学品事業部門が増収となったため、売上高467億9百万円と前年同期に比べ88百万円、0.2%の増加となりました。損益につきましては、渋川工場火災事故の影響や精密化学品事業における電池材料の技術支援料減少、研究開発費と減価償却費を中心とした固定費の増加があったものの、為替差益の増加と基礎化学品事業の増益により、経常利益35億9百万円と前年同期に比べ、4億27百万円、13.9%の増加となりました。最終損益につきましては、災害による損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益17億24百万円と前年同期に比べ、1億44百万円、7.8%の減少となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①基礎化学品事業部門

無機製品につきましては、か性ソーダは、輸出版売の増加に伴う販売価格の低下や一部品目の製造中止に伴う販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。塩酸は、価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。

有機製品につきましては、トリクロールエチレンは、価格修正効果があったものの販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。パークロールエチレンは、販売数量が減少したことにより、前年同期に比べ減収となりました。塩化ビニリデンは、販売数量が増加したことから、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、57億65百万円となり、前年同期に比べ2億35百万円、3.9%の減少となりました。営業損益につきましては、一部製品の価格修正効果に加え、原燃料価格の低下や在庫影響による固定費の減少により、営業利益1億80百万円となりました（前年同期は営業損失5億21百万円）。

②精密化学品事業部門

半導体用特殊ガス類につきましては、硫化カルボニルおよび渋川工場火災事故により減産となった三フッ化窒素は、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。KSG-14およびヘキサフルオロ-1,3-ブタジエンは、販売数量の増加により、六フッ化タングステン、価格修正効果と販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

電池材料につきましては、六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。ライセンス契約に基づき受領する技術支援料は、本年度は発生がなかったことにより、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、372億93百万円となり、前年同期に比べ2億40百万円、0.7%の増加となりました。営業損益につきましては、売上高の増加や電池材料における棚卸評価損の減少があったものの、渋川工場火災事故の影響や電池材料における技術支援料の減少、半導体用特殊ガス類における原材料価格の上昇と減価償却費の増加により、営業利益21億24百万円となり、前年同期に比べ、3億83百万円、15.3%の減少となりました。

③鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、13億92百万円となり、前年同期に比べ3億58百万円、20.5%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益1億96百万円となり、前年同期に比べ81百万円、29.4%の減少となりました。

④商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、5億77百万円となり、前年同期に比べ83百万円、16.8%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益87百万円となり、前年同期に比べ5百万円、5.9%の減少となりました。

⑤設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、請負工事の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、16億79百万円となり、前年同期に比べ3億57百万円、27.1%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益2億52百万円となり、前年同期に比べ3百万円、1.2%の減少となりました。

また、既報のとおり、2025年8月7日に当社渋川工場（群馬県渋川市）構内におきまして、火災事故が発生しました。この事故により、多くの皆様に多大なご迷惑とご心配をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

2026年1月7日付にて公表しました「渋川工場火災事故についてのお知らせ（第7報）」のとおり、三フッ化窒素製造プラントは、復旧を完了させ、安全対策を講じた上で関係当局の許可を受け、安全を確認しながら操業を再開しております。

再発防止策の徹底と更なる安全確保のため、本社技術本部に安全専任者を配置し、各事業所の安全に対する指導および推進活動を行い、現場での活動を通じて一人一人の安全意識を高めております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金や有形固定資産が減少した一方、棚卸資産、投資有価証券や受取手形、売掛金及び契約資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ46億58百万円増加し、1,282億76百万円となりました。

負債は、流動負債その他が減少した一方で、借入金や電子記録債務が増加したことなどから25億60百万円増加し、585億56百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどから20億98百万円増加し、697億20百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の53.4%から53.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期業績予想につきましては、2025年11月10日付にて公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,294	18,257
受取手形、売掛金及び契約資産	14,362	16,896
電子記録債権	1,129	1,283
商品及び製品	7,218	6,865
仕掛品	6,124	6,857
原材料及び貯蔵品	3,938	6,594
その他	4,387	4,648
貸倒引当金	△28	△29
流動資産合計	57,426	61,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,049	18,353
機械装置及び運搬具（純額）	17,876	23,688
建設仮勘定	17,215	5,865
その他（純額）	6,069	5,948
有形固定資産合計	55,210	53,857
無形固定資産	632	649
投資その他の資産		
投資有価証券	8,181	10,980
退職給付に係る資産	8	10
繰延税金資産	1,476	619
その他	692	797
貸倒引当金	△9	△10
投資その他の資産合計	10,348	12,396
固定資産合計	66,191	66,902
資産合計	123,617	128,276

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,434	5,939
電子記録債務	1,158	2,127
短期借入金	3,151	2,735
1年内返済予定の長期借入金	9,410	9,084
未払法人税等	739	546
災害損失引当金	-	135
その他	8,286	5,632
流動負債合計	29,180	26,201
固定負債		
長期借入金	24,686	30,017
役員退職慰労引当金	158	166
役員株式給付引当金	52	51
退職給付に係る負債	1,364	1,585
その他	553	533
固定負債合計	26,814	32,354
負債合計	55,995	58,556
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,859	1,859
利益剰余金	54,535	55,224
自己株式	△62	△159
株主資本合計	59,210	59,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,449	5,366
為替換算調整勘定	2,628	2,265
退職給付に係る調整累計額	670	554
その他の包括利益累計額合計	6,748	8,186
非支配株主持分	1,663	1,731
純資産合計	67,622	69,720
負債純資産合計	123,617	128,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)
売上高	46,621	46,709
売上原価	36,791	36,572
売上総利益	9,829	10,137
販売費及び一般管理費	7,223	7,529
営業利益	2,606	2,608
営業外収益		
受取利息	32	66
受取配当金	434	354
為替差益	240	987
その他	252	143
営業外収益合計	960	1,551
営業外費用		
支払利息	322	354
デリバティブ評価損	86	124
契約解約損	-	141
その他	76	31
営業外費用合計	485	650
経常利益	3,081	3,509
特別利益		
投資有価証券売却益	434	332
特別利益合計	434	332
特別損失		
固定資産除却損	77	115
環境対策費	300	-
災害による損失	-	1,043
特別損失合計	377	1,158
税金等調整前四半期純利益	3,138	2,683
法人税等	1,155	951
四半期純利益	1,982	1,732
非支配株主に帰属する四半期純利益	113	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,869	1,724

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,982	1,732
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	2,005
為替換算調整勘定	36	△366
退職給付に係る調整額	△51	△116
その他の包括利益合計	△187	1,522
四半期包括利益	1,795	3,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,747	3,161
非支配株主に係る四半期包括利益	48	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	6,001	37,052	1,750	494	1,321	46,621	—	46,621
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	815	1,943	2,758	△2,758	—
計	6,001	37,052	1,750	1,309	3,265	49,380	△2,758	46,621
セグメント利益又は損失 (△)	△521	2,507	277	92	256	2,612	△6	2,606

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	5,765	37,293	1,392	577	1,679	46,709	—	46,709
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	894	1,689	2,584	△2,584	—
計	5,765	37,293	1,392	1,472	3,368	49,293	△2,584	46,709
セグメント利益	180	2,124	196	87	252	2,840	△232	2,608

(注) 1. セグメント利益の調整額△232百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	6,126百万円	6,673百万円